



河原 Kouta Kawahara
宏太
若狭町上瀬 28歳
O型 おうし座(独身)

現在?
建設業をしています。大変な仕事ですが安全第一で作業しています。

若狭町の好きなおところは?
自然が多くて落ち着くところ。田舎ですが住んでいて不便も特にないので、このままを維持して欲しいです。

理想のタイプは?
思いやりがあって笑顔がかわいい子。話していて楽しい子がやっぱり好きです。

趣味は?
車が好きです。

今行ってみたい場所は?
寺巡り(笑)。もついい歳なので日本の名所とか行ってみたいです。

幸せを感じる瞬間は?
一週間働いて、次の日休みになった瞬間!!(土曜日)

安全第一でがんばります!




橋本 Akari Hashimoto
朱里
若狭町白屋 21歳
O型 いて座(独身)

現在?
ファミリーマート若狭成願寺店で働いています。

若狭町の好きなおところは?
自然がいっぱいで、人がやさしく、星がめっちゃきれいに見えるところなんです。

理想のタイプは?
男らしくてやさしさのある一緒にいて安心する人です。

趣味は?
映画鑑賞、スノーボード。

今行ってみたい場所は?
遊園地、外国、沖縄。

幸せを感じる瞬間は?
おいしいものを食べているとき♡

自然がいっぱいな若狭町が好きです



わかさ 社協だより

vol.33
2013年
8月22日発行



上中剣道スポーツ少年団

- 《登録メンバー》 7名
- 《指導者》 植田雄也、橋本洋一、寺本賢司、宮谷将也
- 《練習日》 毎週水曜日、金曜日
- 《稽古場所》 瓜生小学校 体育館
- 《主な大会》 若狭町少年剣道大会、嶺南剣道大会、北近畿剣道大会、ライオンズ杯剣道大会

「剣心」という団旗を掲げ、四半世紀以上の歴史をもつ、上中剣道スポーツ少年団は、現在、中学1年男子3名、小学5年男子1名、女子2名、小学4年男子1名の計7名という少数ながら、一生懸命練習に取り組んでおられ、バレーボールを使ってアタックを打つことにより竹刀を振り下ろす際の手首の強化にもつながるといようなユニークな練習も取り入れているとの事です。

代表の植田さんは、剣道を通じて、人への思いやり、仲間の大切さ、形だけではない相手への感謝を込めた礼儀作法を身に付けてほしいとおっしゃっていました。

指導者の方のアドバイスに礼儀正しく熱心に耳を傾け、保護者の方にも見守られ練習に励む7名の団員のみなさんの大きく元気な声が体育館にひびいているのが印象的でした。

また現在、随時新入団員募集中です。



鳥羽小学校4年生ボランティア出前講座

マップづくりで考えよう！ 誰もが暮らしやすいまちづくり ～ほくたち・わたしたちも地域の一員～

若狭町社協では、「マップづくりで考えよう！誰もが暮らしやすいまちづくり」と題し、今年の5月から総合的な学習の一環として、鳥羽小学校4年生の子どもたちとともに車イス体験など福祉体験学習を行なっています。

今回の福祉体験学習は、先生から「長い期間をかけて一つひとつのステップを踏んで子どもたちに障がい(福祉)について理解してほしい」と相談があったことがきっかけでスタートしました。

❖外での車イス体験と福祉マップづくり

子どもたちが普段通学路として通っている学校周辺のコースでの車イス体験と、その体験で気づいたことを踏まえて福祉マップをつくる学習を行なうことになりました。普段から慣れ親しんでいる道での車イス体験を通して、車イスでは不便な点や、バリアフリーで誰にでも使いやすくなっている点など気づいたことをマップに書くことで、



自分たちにできることを子どもたちに見つけてもらうことがねらいです。

❖障がいってなに？

5月30日、学校周辺での車イス体験の事前学習として、まず「障がい」について、みんなで考えました。クイズ形式の簡単なアイマスク体験(アイマスクをしたまま、列の前から後ろへあるものを回し何を回したか当てるといったもの)を行ないました。最初は「見えなくて怖い、わからない」と言っていた子どもたちも手でよく触ったり、声をかけ合うなど工夫をすることでお互いにコミュニケーションを取って何が回されたのか見事に当てていました。子どもたちはこの体験から、「障がいがあるからといってできないわけではない」「障がい=個性の1つ」であることを少し実感したようでした。

その後、班ごとにわかれて、次回

の車イス体験のコースの下見を行ないました。子どもたちは車イスで通ることを想像して、段差や危険場所をチェックしメモをとっていました。

❖いよいよ車イス体験へ出発

6月27日、待ちに待った車イス体験を行ないました。出発前の子どもたちはワクワクと不安が入り混じった表情をしていました。コースは大鳥羽駅へ行くコースと郵便局へ行くコースの2つ。車イス利用者・介助役・記録係などをローテーションしながら行ないました。下見時に気づいたチェックポイントに沿って、「実際に車イスで行くことができるのか、できないのか、人の手助けがあったら行くことができるのか」と考えながらコースを進んでいき、駅員の方や郵便局員の方にインタビューも行ないながら、学びを深めていました。

途中、下見時には気づかなかった



ちょっとした段差でつまづいたり、傾斜がある道では思うように車イスを動かせなかったり悪戦苦闘している様子が、うかがえました。体験後の感想では、「もっと道を広くするといいなー」「小さな段差でも車イスではまるとガタンとなつてこわかったです」「これから車イスに乗っている人を見かけたら声をかけて介助したいと思う」など、気づいたことがたくさんあったようです。

❖いざ、福祉マップづくりへ

さあ、いよいよ福祉マップづくりです。コースの地図を貼った模造紙

へ写真やシールなどを使って車イス体験時に気づいたポイントを記していきます。下見時と実際の体験のときの相違点やその問題に対する解決策なども思いついたら加えていきます。そして、最後に班ごとにマップの名称と宣言(体験を通して気づいたこと+私たちができること)を記入して福祉マップが完成しました。同じコースであっても班ごとに気づきの視点が違うので、それぞれが良いところを活かし、子どもたちなりに人に伝える大切さを考えながら素晴らしい福祉マップが完成しました。

❖2学期は…

学校周辺での車イス体験や福祉マップづくりで「障がい(福祉)」について学びを深めてきた鳥羽小学校4年生。2学期は実際に車イスを使って生活している方のお話を聴く機会を作ろうと計画中です。実際に障がいをもつ方のお話を聴くことでさらに学びを深めていってほしいと思います。



ボランティア出前講座～みなさんのところへお伺いします～

今回、鳥羽小学校で実施している福祉体験学習は「ボランティア出前講座」の1つとして実施しています。「子どもたちに福祉体験学習をさせたい」「子どもたちへの福祉教育で、どのようなプログラムをすれば…」など福祉教育・学習に関するご相談は下記へお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】若狭町ボランティアセンター(若狭町社会福祉協議会 いずみ事業所内)
TEL: 0770-45-2837 担当: 満田みつた



生活介護のあれこれ

生活介護って??

常時介護を必要とする障がい者の方に、入浴、排泄、食事等の介護を行なうとともに、創作活動または生産活動の機会を提供します。障がい者の方が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上のために必要な訓練等を行なうことを目的としたサービスです。

利用するには、受給者証が必要となります。まずは、若狭町福祉課(62-2703)に相談しましょう。



対象者は?

18歳以上の障がいをお持ちの方で、障害程度区分が区分3以上(50歳以上の方は区分2以上)の方が対象となります。



1日の流れは?

- 9:00 お迎え
- 10:00 健康チェック、入浴
- 11:00 午前の活動
- 12:00 昼食
- 13:00 機能訓練、生産活動
- 14:00 午後の活動
- 16:00 お送り



サービス内容

障がい者施設などで、主に昼間、以下のようなサービスが受けられます。



- 生活支援 排泄、食事、入浴等の介助
- 創作活動 手工芸、ゲーム、カラオケ
- 生産活動 野菜や草花の育成、清掃等の軽作業
- 余暇活動 買い物、お菓子作り、ドライブ、誕生日会
- 機能訓練 歩行訓練、リハビリ

利用料金は?

ご利用者の障害程度区分により異なります。また所得等に応じて負担上限額や軽減措置が設定されていますので、若狭町福祉課へご相談ください。

※定員20名以下の場合

区分2	578円/日
区分3	629円/日
区分4	697円/日
区分5	973円/日
区分6	1,288円/日

以下のサービスについては別途料金が必要になります。

食事・入浴・送迎・活動費 等

サービス事業所のご案内

町内の生活介護事業所は以下のとおりです。

- C・ネットふくい若狭事業所 (☎62-2550)
- 障がい者日中活動支援施設 五湖の郷 (☎46-1212)

※町外にもサービスを利用できる事業所があります。



3分でわかる介護

Vol.22

3分でわかる介護は、できるだけ家庭での介護負担を軽減できればと思いシリーズ化しています。

安全な入浴 入浴介護用品編



年齢を重ねるにつれ、浴槽での立ち座りが大変になったり、足場の悪い浴室内では転倒の危険性が高くなっていきます。そこで、できるだけ安全に自宅で入浴できる環境をつくるための介護用品を紹介します。

低いイスは立ち座りしにくい

そんな時は…

足腰が弱くなってくると無理をして低いイスに座るだけでも大きな負担となります。また転倒の危険性も高まります。

シャワーイスを使いましょう。

高さが調整でき、手すり・背もたれがついたイスであれば立ち座りも楽になり安全性も増します。



シャワーチェア

浴槽に入る際に転倒の恐れがある

そんな時は…

浴槽の出入りをする際は体勢が不安定になりがちで、滑りやすく転倒する恐れがあります。

手すり・踏み台を使いましょう。

手すりを持つことで体勢をしっかり支えることができ安全性が高まります。踏み台を使えば深い浴槽でもまたぎ動作が少なく済みます。



手すり・踏み台・マット

浴槽内での立ち上がりが大変

そんな時は…

足腰が弱くなってくると浴槽での立ち座りが大変になり入浴での負担が大きくなります。

浴槽内チェア、滑り止めマットを使いましょう。

踏み台をイスとして使うことで立ち座りも楽になり、さらに手すりも併用することで安全性が増します。滑り止めマットを浴槽に敷くことで立ち上がり時の足の滑りを減らし踏ん張りがきくようになります。



浴槽内での使用例



浴室での使用例

知っ得

介護保険サービスで、入浴用品やトイレ用品を利用する場合は、貸与ではなく、購入になります。介護保険の要介護認定を受けておられる方は、介護度に関係なく1割負担で購入できますので、担当のケアマネジャーに相談して下さい。

つながれ!80万人のボランティアの輪

期間中、ボランティアに関する様々な取り組みが実施されます。みなさんもボランティア活動を通して、つながり合う“しあわせ”を感じてみませんか?たくさんの方々の応募と参加をお待ちしています!

推進運動実施期間：平成25年7月1日～11月30日

《プログラム》

サマーボランティア体験2013

福祉施設でのお手伝いや環境保護活動など、豊富な活動メニューの中から興味・関心のあるボランティア活動を選んで体験することができます。この夏、新しいことにチャレンジしてみませんか?

《期間》7月～9月

《対象者》小学校高学年以上でボランティア活動に関心のある方



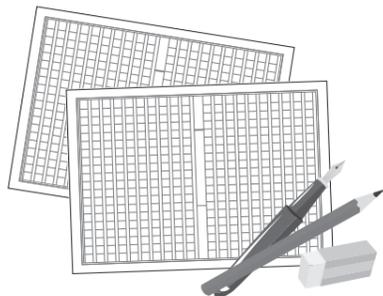
ボランティア作文コンクール

児童・生徒をはじめ広く県民から、ボランティアに関する作文(800字以内)を募集します。

この機会に、ボランティアについて考えてみませんか?

《テーマ》

- ①ボランティア活動の経験から得たこと・感じたこと
- ②ボランティアについての自分の思い・考えていること



【問い合わせ先】

若狭町ボランティアセンター(若狭町社会福祉協議会いすみ事業所内)

TEL: 0770-45-2837 担当: 満田

五湖の郷 秋祭り

【開催日】平成25年10月5日(土)

【場 所】若狭町社会福祉協議会 五湖の郷事業所

【内 容】ステージ企画、ゲームコーナー、屋台など
楽しい出し物を多数企画しております。

【問い合わせ先】

若狭町社会福祉協議会 五湖の郷

秋祭り実行委員会

TEL: 0770-46-1212



ボランティアの日～ボランティア活動の楽しさを体験しよう!～

若狭町社協では、9月の最終日曜日を「ボランティアの日」とし、ボランティア活動の普及・啓発を行なっています。

今年は、「ちょっとしたボランティア“ちょボラを広めよう”」をテーマに、社協各事業所でお菓子づくり教室・フラワーアレンジメント教室を実施します。そして、各教室で作ったものを地域の気がかりな方へ届けるボランティア活動を行う予定です。

「ボランティアの日」をきっかけに、ボランティアの楽しさ実感してみませんか?

【日 時】平成25年9月29日 14:00～16:00(仮)

【場 所】パレア若狭・地域福祉センター泉・五湖の郷

【内 容】お菓子づくり教室(パレア若狭)

フラワーアレンジメント教室(地域福祉センター泉・五湖の郷)

【問い合わせ先】若狭町ボランティアセンター(若狭町社会福祉協議会いすみ事業所内)

TEL: 0770-45-2837 担当: 満田

ふくい健康長寿祭2013

【日 時】平成25年9月21日(土) 10:00～16:00

【会 場】ハートピア春江(坂井市)、トリムパークかなづ(あわら市)ほか

○健康づくり講演会「病気になるらない免疫生活」

講師:新潟大学名誉教授(医学博士) 安保 徹 氏

○地元の伝統芸能を中心としたステージイベント

○三国湊町ウォークラリー(100名)【事前申込必要】

○健康ボウリング(40歳以上60名)【事前申込必要】

○特定健診・後期高齢者健診...40歳以上先着100名 ※骨密度測定も有《無料》

○高齢者のスポーツ・文化の交流大会 ゲートボール・ベタンク・弓道など13種目

※ハートピア春江では、先着300名に「飲食コーナーお買い物券300円分」、参加賞として、クッキー・布きんなどをきれなくプレゼントします。

【問い合わせ先】福井県社会福祉協議会 TEL: 0776-24-2433

ちんぷくろ紙苗



今回の主役はこれ



五湖の施設でも 大はやり局 ←ちんぷくろをす!



やさしさをありがとう

「社会福祉事業に役立てて下さい」と下記の方々よりご寄付をいただきました。預託や寄付いただいた物品は、地域や若狭町社会福祉協議会にて有効に使わせていただきます。下記以外にも多くの方々より、使用済み切手やエコキャップ等のご寄付をいただきました。ありがとうございました。(敬称略・順不同)

平成25年5月21日～7月20日

福祉基金	
三田 北川 傳一 100,000円	匿名 14,917円

物品預託		
北川 傳一 タオル	日赤奉仕団 タオル	匿名 スポンジ
日赤奉仕団 タオル	匿名 衣類	匿名 もち米120kg
婦人福祉協議会 タオル、せっけん	匿名 衣類	